

# 派生開発（保守・改良）のためのプロセス(XDDP)と 変更・追加要求仕様書の書き方 講座（4119306）

☆本コースの特徴☆

1. 変化に対応した新しい製品を生み出せる保守・改良に対応した「派生開発プロセス(XDDP)」が学べる！
2. 今までの「保守」の概念を覆す、実践経験豊富な講師より、講義、事例、演習で学べる！
3. 実習とグループディスカッションで、より理解が深まる！

開催日時	2019年9月18日(水) 10:00-17:00
カテゴリ	IS導入（構築）・IS保守 <b>専門スキル</b>
講師	梶本和博 氏 (株式会社エクスマーシオン コンサルティング部 シニアエキスパート) 1975年からソフトウェアの世界に入り、オンラインシステムにおけるソフトウェア開発に携わる。 1980年半ばに組み込みシステムの世界に転じ、この頃清水吉男氏と出会う。ページプリンタの黎明期からオンラインパブリッシング向けプリンタの企画・開発を経て1995年ソフトウェア品質の世界へ。 2000年代初期に、ソフトウェア開発設計時代に遭遇したCMMに関りソフトウェアプロセス改善にも取り組む。 ソフトウェア品質・プロセス改善の傍ら1990年代後半から清水氏のコンサルティングやセミナーを企画、「QCD達成」に向けての技術やUSDM・XDDP・PFDを社内に啓蒙。 2000年代半ばから社内ソフトウェアプロセスコンサルタント・ソフトウェアプロセスアセッサーとして自ら活動今に至る。 2010年の派生開発推進協議会（略称AFFORDD）設立に関り、派生開発の技術の発掘と普及活動に参画。
参加費	J U A S 会員/ITC : 33,000円 一般 : 42,000円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (日本橋堀留町2丁目ビル2階)
対象	ユーザー企業やベンダー企業にて情報システム開発に携わる、管理者、担当者、プロジェクトマネージャー。 <b>☆受講条件☆</b> ソフトウェア設計、またはソフトウェア設計に関する言葉を理解できる方、もしくは『要求を仕様化する技術、表現する技術 (技術評論社・清水吉男氏著)』を読まれた方 <b>初級</b>
開催形式	講義、グループ演習
定員	24名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
特記	※エクセルのインストールされたパソコンをお持ちください。 (外部モニター(VGA)との接続コネクタもお持ちください) ご不明点は事務局までご相談ください。  ※研修にて使用するテンプレートのダウンロード開始。(2019/9/9) お申込みいただきましたマイページよりダウンロード可能です。
ITCA認定時間	6

## 主な内容

保守・開発技術者のための

派生開発（保守・改良）のためのプロセス(XDDP)と変更・追加要求仕様書の書き方講座

趣旨：

派生開発とは、「社会や環境の変化に対応するために既存システムへの機能の追加・削除・仕様変更によって新たな製品を生み出したり、既存のソースコードの一部を流用しながら新規開発を行うこと」です。

現代の世の中のソフトウェア開発では、ほとんどが派生開発になります。ですが、派生開発（保守・改良）の際は、新規開発プロセスでは不十分なです。既存の資産がある機能の追加・削除・仕様変更は、それに見合うプロセス（手順）とドキュメントが必須です。新規開発プロセスの代用で派生開発を行うと、以下の問題があります。

- ・開発の仕方（プロセス）
- ・変更すべき内容の理解
- ・変更箇所の特定
- ・変更方法の検討
- ・見積もりの方法

これらすべてが、不十分になります。

XDDPは、まさにこれらの問題を解決する、派生開発のためのプロセスです。

そこで、今回は、多数プロジェクトで実践し、成功に導いた「派生開発プロセスXDDP」を実習交えて学びます！日頃、派生開発に取り組まれているプロジェクトマネージャの方必見です。

この「派生開発」における仕様の書き方として、必須になってくるのがUSDM方式です。USDM詳細については、「USDM・仕様が漏れない要求仕様の書き方実践事例講座」をご参照ください。

■派生開発の現状

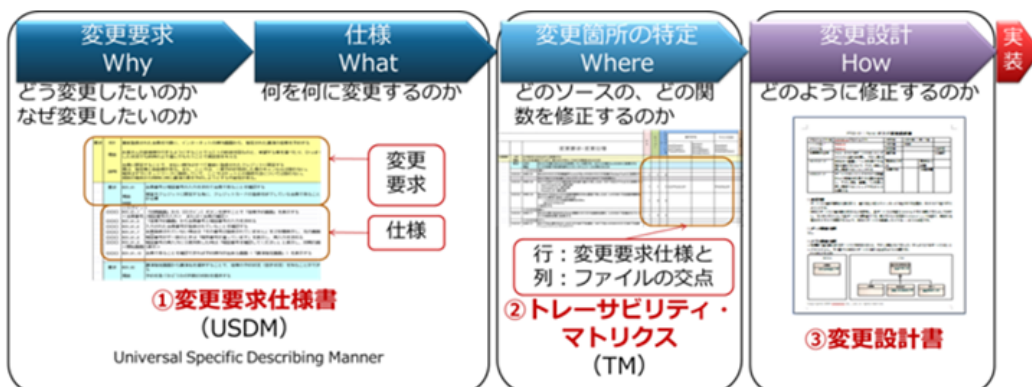
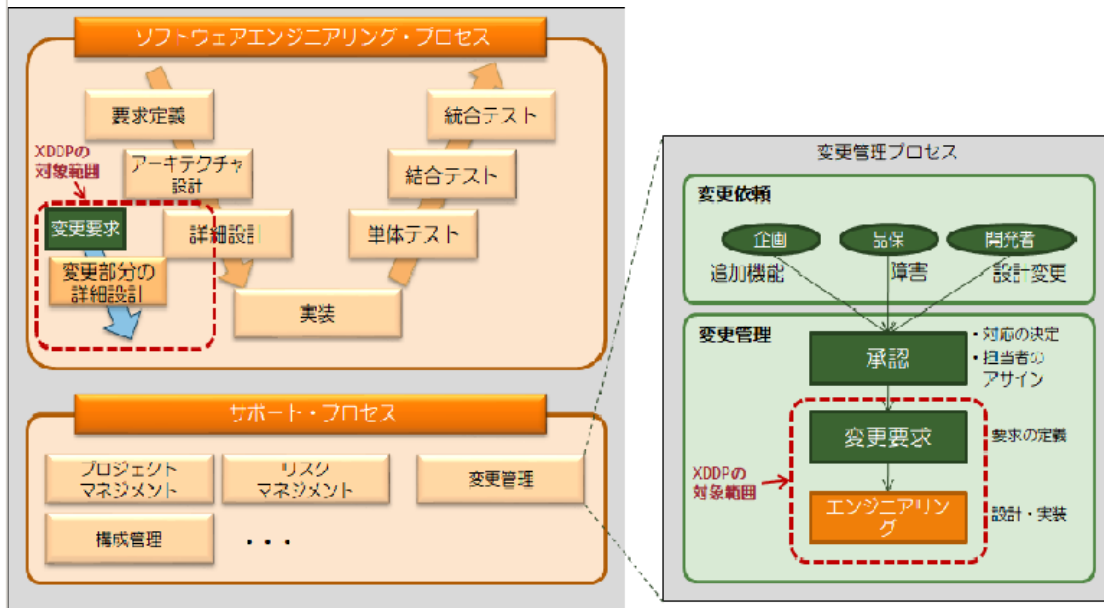
最近のソフトウェア開発では新規開発の機会はほとんどなく、現行のソースコードに対する変更や機能追加を行う「派生開発」が多くなっています。その背景には、製品のリリース間隔が短くなっていることや、ソフトウェアの大規模化により新規に開発するリスクが高くなったことなどがあります。

派生開発は、短期間であることに加え、機能仕様書や設計書が更新されていないことが多いため、いきなりソースコードの修正に取り掛かります。その結果、全体を十分に理解できていない、いわゆる「部分理解」の状態での作業が行われ、開発者による「思い込み」や「勘違い」の問題が発生します。

■派生開発に特化したプロセス “XDDP”

新規開発のプロセスは世の中にたくさんありますが、変更に特化したプロセスはあまり見かけません。その中で株式会社システムクリエイツの清水吉男氏が提案された“XDDP (eXtreme Derivative Development Process)”は変更に特化した、いわゆる「派生開発」のためのプロセスです。

XDDPは、派生開発を行う場合に最低限必要なプロセスと成果物の連鎖で構成されています。その特徴として下図の3点セットがあります。変更する情報を3点セットの成果物に記述することで、担当者が予定している変更内容や変更箇所、具体的な変更方法を「コーディング前」に知ることができるようになります。これを使って、仕様と設計の確認作業を徹底することで、「思い込み」や「勘違い」によるモレやミスを防止し、手戻りによる工数のムダを撲滅します。



**■講義内容**

本トレーニングでは、変更要求仕様書の作成や追加要求仕様書の作成など、実際に手を動かしていただくことで、実践でのリスクを軽減するとともに、自信を持って取り組むことができるようになります。

講義項目		講義内容
学習	XDDP概要	開発現場で起こっている「派生開発の現状」について、問題を整理します。その問題に対する効果的な開発プロセス「XDDP」について説明します
	XDDP派生開発プロセス	XDDPの中核をなす「変更のプロセス」「機能追加のプロセス」について解説し、その成果物である変更要求・変更要求仕様／追加要求・追加要求仕様について基本構成、記載方法について解説し、良い変更要求・変更要求仕様／追加要求・追加要求仕様を作成するためのポイントを具体的に説明します。
	開発を支援するさまざまなこと	レビュー／要件管理／ドキュメントの維持／見積と計画／開発プロセスを変化させる／等、プロジェクトを成功させるために開発を支援する様々な項目について紹介します。
実習	演習問題	簡単な要求を元にExcelを使って変更要求仕様/追加要求仕様を各自で作成し、グループでディスカッションし、講師が適時アドバイスをします。PCを使った実習となります。

☆特記：エクセルのインストールされたパソコンをお持ちください。（マックの方は、外部モニターとの接続コネクタもをお持ちください）ご不明点は事務局までご相談ください。

**◆過去参加者の声◆**

- ・手法を構造的に説明いただき、演習で腹落ちした。（金融）
- ・事前に清水氏の書籍を読んでいたが、説明を聞いて全体像を理解し、活用を進めていこうと感じた（製造）